



Servas Japan Tohoku

支部ニュース

No.78



| | |
|--|---|
| 支部総会報告..... | 1 |
| 支部長挨拶 支部総会に参加して..... | 2 |
| サーバス旅行者受入報告..... | 3 |
| H.Hさん(秋田県秋田市) | 3 |
| M.S 事務局長(宮城県仙台市)..... | 3 |
| 受け入れ報告① A.P(女性) 日本人 12/9~16, 2011..... | 3 |
| 受け入れ報告② M.N(女性) 日本人 4/6~8, 2012..... | 4 |
| 旅行報告..... | 4 |
| M.S事務局長(宮城県仙台市)..... | 4 |
| 東日本大震災支援報告 T.Nさん(日本サーバスペースセクレタリー)..... | 5 |
| 編集後記..... | 6 |

支部総会報告

今年の支部総会は、趣向を変えて米沢で開催されました。米沢の会員 Tさんご夫妻が会場・昼食などの手配をはじめ、総会の準備をしてくださりました。総会では米沢銘菓をたくさん出していただき、お茶のお替りなど何から何まで細やかなお気配りをされていて、日本人のおもてなしホスピタリティーを拝見して改めてそのすばらしさを思い返しました。おかげですばらしい総会を無事に終えることができました。

● 参加者

| | | | |
|-----|-----------------------|------------------------|-------------|
| 山形県 | T.Yさん・T.Kさん | | |
| 新潟県 | T.Nさん(支部長) | T.Sさん(会計監査) | T.Yさん・T.Mさん |
| 宮城県 | M.Sさん(東北支部事務局長)・M.Mさん | T.Nさん(日本サーバスペースセクレタリー) | |
| | K.Tさん | O.M(支部ニュース発行)・G(おまけ) | |
| 福島県 | H.Mさん(会計) | | |

計12名

● プログラム

1. T支部長の挨拶
2. T前支部長の挨拶
3. 参加者の自己紹介
自身の旅行のエピソード、サーバスと出会ったきっかけなどを交えながら、自己紹介を行いました。
休憩・昼食
4. シンガーソングライター K.Tさんのミニコンサート

5. 役員改正

前会計、及び会計監査が退会のため、新会計をH.Mさん、新会計監査をT.Sさんにお引き受けいただきました。支部ニュース発行者は引き続きO.Mが担当いたします。

6. 会員を増やすには？国際サーバスユースのように、若年たちにサーバス活動を知ってもらうには？

昨年度の退会者6名、新会員1名、今年度の会員数20名です。チラシ1枚を見ても、詳しい情報が少なすぎて、？？？が多すぎる。国際交流関係機関を通して紹介しても、興味を持ってもらえるまでに至らない。など、色々な意見が交わされました。結局、新発田市のT.Mさんが、？？？を解決してくれるようなチラシの考案をしてくださることになりました。また、各大学の国際交流センター等の担当者に直に連絡をとり、大学生及び留学生への紹介が可能か、T支部長を中心に動いてくださっています。

7. JTW(Japanese Traveler Welcome)の活用

ホストリストのプロフィール欄にJTWと記載すると、日本人旅行者の受入れもしているという意味で、日本サーバスの会員の方々が自宅を訪問することが可能になります。他の日本サーバス会員の方々との交流もまた違った意味で価値のあるものかもしれませんね。興味のある方はぜひJTW記載をご利用ください。

8. 50周年誌について

ピースセクレタリーのTさんより、日本サーバス50周年誌の紹介をいただきました。上下巻各¥1,000で購入可能ということです。

9. Tさんご夫妻、初めてのヨーロッパ旅行

米沢のTさんご夫妻が、6月にツアーでいらっしやっただヨーロッパ旅行の話をしてくださいました。今回のご旅行はサーバス訪問の旅ではありませんでしたが、ご夫婦とも楽しい時間を過ごされ、素敵なお旅行になったようです。



支部長挨拶 支部総会に参加して

支部総会参加者各位 GCメルアドを知っている欠席者さま

お疲れ様でした。本当にご多忙のところありがとうございます

ました。私らの米沢での支部総会は11時から3時まででした。時間通りでしたね。私とTさんが遅れてすみませんでした。M事務局長の司会でスムーズに且つ和やかに多くの議論が交わされて楽しい有意義な会合でした。私はまだサーバスのこの会の中身がよく分かりませんが、行ってよかったです。来年は二本松という声がありました。

1. 支部の方々に会えたこと、支部の人のお考えも聞けたこと
2. 会費3000円が直接支払えたこと
3. 6000円(会員は半額)の認定料を払えば、1年間の有効期間のパスをもらって海外の15000名のサーバス会員宅にホームスティができること
4. これはまた別途6000円(会員は半額)で国内のサーバス会員宅にもホームスティができることがわかりました。
5. 米沢への途中の道で、雪が残っていたり、桜が咲いていたり、緑がきれいだったりして、新たな道を走れたことです。
6. 米沢牛のお弁当やお菓子が美味しかったこと
7. ライブのコンサートが聴けたこと、これは塩釜のKさんです。その日も震災復興で、南三陸の歌津中学前で6時からコンサートがあるそうでした。自分の歌津は懐かしかったです。大船渡にも行かれるとの事でした。
8. 米沢の市内は穏やかな天気、しかもTご夫妻のご協力で素晴らしい会場をお借りできて、設営もばっちりでした。感謝しています。
9. 新会員の米沢のTさんのおかげで、写真も撮れたこと。Tさんのご夫妻から新発田でのご活動をきけたこと
10. Oさんのご長男のGくんにご参加頂き会えたこと
11. Mさんの旦那様のご出席頂きグローバルなお話をきけたこと。

など素晴らしいことばかりでした。

なお、昨日の運動会の結果を里子には、夕食時には詳しく聞きました。6人中4位の短距離、あまり差はなかったようです。リレーが印象に残ったそうですが、16人で6チームが走り、全員です。6チームで5位だったそうです。彼の赤組はまた総合二位で、優勝を逃しました。来年6年生で最後ですので、私も見たいですね。接待の仕事は教頭先生や前の校長先生に給仕をしたそうです。来年は応援団もして見たいといっていましたので、是非挑戦したらいいよ!!と

いいました。この辺のことは、毎日の日記です。私の日記は新潟情報福祉ネット <http://eeko.org/> で子ども論語ホームに掲載しています。もしお時間がありましたら、覗いてください。

弥彦 T.N



サーバス旅行者受入報告

H.Hさん（秋田県秋田市）

[カナダからのお客様]

2012年5月。久しぶりのサーバス受け入れに、胸が高鳴りました。きっかけは、滋賀県にお住まいのMさんがくださった、我が家への電話。「サーバス会員のカナダ人夫妻が、秋田でのステイを希望していますが、そちらの状況はいかがでしょうか？」我が家は広くないこと、3歳児がいることを伝えた上で、二つ返事でOK!

[出会い]

5月10日、秋田駅に迎えに行くと、ちょうどぴったりの電車で、ニコニコ笑顔のご夫妻が登場。WとBは、気さくな50代のカップル。とても旅慣れた様子で、大きなバックパックを厭わず、颯爽と歩き、観光案内所に立ち寄っては、観光地(角館)のチェック、電車の時刻、翌日の天気を確認。翌日のプランを二人で仲良く相談していたのが印象的でした。

[食事]

ホームステイの前日から、娘と「晩ご飯は、海苔巻きにしよう!」と準備していました。当日、「日本食で苦手な食べ物はありますか?」と二人に尋ねたところ、「Wはなんでも大丈夫、Bは、海苔、ワカメが、味も匂いも苦手」とのこと! 急遽、B用には、小松菜で酢飯と具材を巻くことにしました。味噌汁も、二人分はワカメを抜いたり、工夫をしました。日頃意識していなかったのですが、日本は島国のため、海藻を取り入れた食事が多いんだなあ、改めて気づきました。副菜として出した、焼きがんもどきは、「これ、初めて食べる!」と、Wが大喜び。きんぴらごぼうとアートグリーンのサラダも、よく食べてくれました。

2日目の晩ご飯は、豆乳ソースの Pasta と、さしみこんにゃくと厚揚げの塩こうじ和え。さしみこんにゃくも、初めての食材だったようです。豆腐に、豆乳に、味噌に、黒豆・・・Bが「豆をよく取り入れてるんだねえ」と感心していました。

[語らい]

お二人はとてもわかりやすい英語を話してくれたので、ゆっくり、穏やかなコミュニケーションができました。福島第一原発事故が発生し、今なお土壌や水質、食物の放射能汚染、がれき焼却による放射能拡散への不安があること、それでもなお日本政府は他の原子力発電所の再稼働を望んでいることを話すと、「カナダでも2基の原発が稼働中なんだが、原発を推進しているのは、政府や経済界のトップである、ごく一部の人間。人々の大多数は反対なのに、富裕層のごく一部がカネのために原発を推進しているのは、どの国でも同じだと思う」と、B。“Greedy money”一親指、人差し指を擦り合わせながら、こう呼ぶそうです。

他の話題としては、日本の子供が、携帯、ゲーム、パソコンに親しんでいるのに、びっくりした、という話がありました。「3歳くらいの子が、キーボードを打っていたり、ゲームしていたり・・・電磁波の影響は、大丈夫なのかな?」日本では軽視されている電磁波問題。カナダでは、電磁波が子供にもたらす健康被害について、警鐘が鳴らされているようです。

[最後に]

2泊3日という短い時間でしたが、お互いの文化の違いを知り、認め、受け入れ合う、素晴らしい体験ができました。これぞ、サーバスならではの醍醐味ですね! WとBは、この後札幌まで北上した後、関東、関西へと戻り、7週間の旅を満喫するようです。「また、いつか、今度は、カナダで!」未来の再会が、とっても楽しみです。

M.S 事務局長（宮城県仙台市）

受け入れ報告① A.P(女性) 日本人 12/9~16, 2011

オランダ人のP氏と結婚して25年がたつAさんの受け入れは本当に楽しい時間でした。ご主人はオランダサーバス会長を長い間務めている人です。まだ独身だったあや子さんの家にP氏がトラベラーとして滞在されたことから交際が始って、出会いから半年後に結婚されたご夫婦です。

我が家に一週間の滞在中、私たちが同世代ということもあるのか毎晩12時過ぎまでおしゃべりをしました。オランダでは公園管理は税金で公的に行われるのだそうで、私の地域の公園ボランティアの仕事も嬉々として手伝ってくれたのが印象的でした。

良くも悪くも日蘭の文化や習慣の大きな違いに悩み、いつまでも慣れることのないオランダ語の難しさを嘆いているあや子さんでしたが、国際結婚でなくとも結婚制度そのものがなかなか忍耐のいることだと今更ながら分かった私たちでした。

受け入れ報告② M.N(女性) 日本人 4/6~8, 2012

関東支部のM.Nさんが被災地を訪問したいという目的を持って我が家に滞在してくださいました。仙台駅に到着後、まずバスで3/11の被災地の一つ石巻市役所を訪問しました。そこで被災した方々を紹介していただいて直接生々しい被災体験を聞いて来られたのです。お会いしたときのMさんからの第一声は「被災地の皆さんから逆に元気をいただけてきました!」でした。大学で教鞭をとるMさんは生徒に新学期が始まる時には被災地での体験を語りたくて強い思いがあったのです。

滞在二日目は本部ピースセクレタリーのTさんに連れて行っていただき津波で流された海岸沿いを見に行きました。連日の被災地訪問で疲れているはずですが、その夜にはサーバス・トラベラーとして2年前の夏休みにヨーロッパ旅した高校の先生、O.Nさんにも会ってくださいました。

Mさんは横浜に帰ってから今回の被災地訪問のことをサーバスのHPの「サーバス掲示板」に書いてくださっていますのでお読みいただければ嬉しいです。

旅行報告

MS事務局長（宮城県仙台市）

オーストラリア滞在報告 4/23~5/4, 2012

孫たちが(7歳, 4歳)まだ小さい内にできるだけたくさん会っておきたいと思い昨年に続いてオーストラリア・ゴールドコーストに行ってきました。オーストラリア政府が出している日本の放射能汚染の数値が相変わらず高く、3/11の後、「雪が見たい、スキーがしたい」と言う孫たちの希望を母親である娘は頑固に拒否して、仙台には来なくなりました。とても悲しくて残念なことです。

今回は4歳の孫娘の通っている幼稚園でのことを書いてみたいと思います。私は藤沢市、茅ヶ崎市そして宮城県では遠田郡涌谷町で32歳まで幼稚園教諭として働きました。日豪の幼稚園教育の違いはたくさんありました。

面白い違いに今回一つ気づきました。こどもたちが自然に「先生を名前で呼ぶ」ことです。小学2年生の孫の方はMr. Mrs. Ms.....と呼んでいますから幼稚園時代に限られているのかもしれませんが。

40代の二人の先生が、こどもたちから「ケイ! ロビン!!」と呼ばれていました。母親たちもこどもたちと同じ「ケイ! ロビン!」と呼びかけます。苗字か?、名前か?○○先生か?....どう呼ぶことが正しいかということだけでなく、いかにも国民性が出て面白いと思いました。

今回は習字の筆、墨汁、紙などを用意して幼稚園訪問させていただきました。こどもたち見ている前で一人一人のこどもの名前を書いて見せ、私にとってはとても楽しい時間でした。

今回の旅もまた新しい発見の連続でした。最後に、旧約聖書「シラ書」に「旅の益」について記した箇所がありました。現在の旅とも重なり、旅への思いを实によく表していると思いますので書いてみます。

旅をした人は多くのことを知り、
 経験の豊かな人は知識をもって語る。
 しかし、旅をした人は賢さを増す。
 わたしは旅のおりに多くのものを見た。
 わたしの知識は語ってもつきるところがない。
 わたしはしばしば死の危険にさらされた。
 しかしわたしはそれらの経験のおかげで救われた。

東日本大震災支援報告

スセクレタリー)

T.Nさん(日本サーバスピー

2012 3.17 国内会議



○ 3月11日 仙台市宮城野区の校舎5階にいた。すぐ近くが震度7の地区。

○ 3月27日 知り合いの市議員に協力を依頼し、支援活動に入った。「肌着1000着」、カップラーメン 2000食、白石温麺600食を提供していただき、4月1日に仕分けた。(高校生のボランティア)



河口の橋がなかった…



小泉地区住宅街 250軒の家は跡形もなく流された

3月28日にメールで現地に物資を送るよう依頼して4月1日から次々に到着。
子どもたちにすぐ配布してくれた。



トラックはこの工場で契約している近鉄物流のチャーター便をつかい、工場長のはからいで炊き出しをすることとなった。

○ 本吉町を過ぎると、高台を走る45号線に出る。ここを南下すればその向こうに避難所がある。坂を下りて川を渡ればもうすぐなのに。



支援物資の多くを山形から頂いた。
山形からだけで、2000枚以上のふとんや毛布を被災地に運んだ



| 日付 | 毛布 | ひざかけ | 掛けふとん | 敷き布団 |
|--------|------|------|-------|------|
| 5月24日 | 390 | | | |
| 7月15日 | 73 | | | 20 |
| 8月22日 | 229 | 180 | | |
| 10月6日 | 163 | | | |
| 10月20日 | 145 | | | |
| 10月26日 | 816 | | | |
| 11月10日 | 109 | | 25 | 3 |
| 合計 | 1925 | 180 | 25 | 23 |

これは河北町から布団

○ 食糧事情

4月7日に食材を届ける。カレーを食べたいということで、350人分の食材を探すのが宮城県内では調達できなかったため、山形県西川町に発注。被災地の事情で、これらを1日白石市内の冷蔵庫で保管して日程を調整して運ぶ。

栄養士が居ないことと食材を調達する業者がないことが食糧事情を悪化させた。

○ 奇妙な組み合わせ

- 自衛隊は毎日、おにぎりを人数分作ってくれる。
- 業者から送られる大量の食品は、賞味期限の長い飴玉や羊羹と缶ジュースにレトルト食品。・・・だから、おにぎりとおにぎりという不思議な組み合わせの配給となる。



○ 自立の支援に、手芸グループができた

4月に避難所でマスコットを作り、その流れで手芸グループをつくるよう働きかけた。(5月10日)



○ 石巻市立病院が被害にあったため、内陸部で一人の医師が立ち上がった。看護師と共に介護度の高い被災者の面倒を見た。ここに消毒薬、紙おむつタオルを4トン車で2回運んだ

(後編へ続く)

※Tさんの『東日本大震災支援報告』は長編のため、2回に分けて発行いたします。次回に続く後編をお楽しみにお待ちください。

編集後記

支部ニュースNo.78、いかがでしたか。次回支部ニュースも記事が集まり次第発行いたしますので、随時、原稿をお寄せください。また、お気づきの点がありましたら、お知らせください。これからも、どうぞよろしくお願いいたします。

O.M